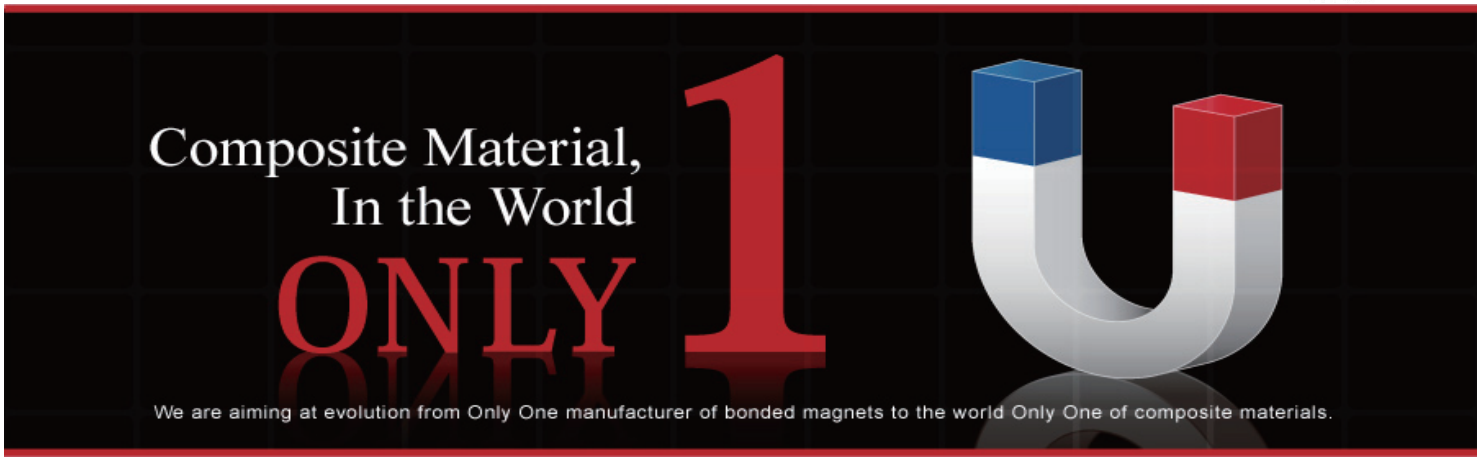
MATE



【射出・押出し成型用プラスチックマグネット材料】
・フェライト系コンパウンド
・ネオジム系等方性コンパウンド
・ネオジム系異方性コンパウンド
・サマコバ系異方性コンパウンド
・希土類+フェライト系コンパウンド

【射出成型用軟磁性プラスチック材料】
・ソフトフェライト系コンパウンド
・金属扁平粉及び金属系コンパウンド

株式会社 メイト
《営業部》
〒709-0514
岡山県和気郡和気町佐伯526-3
TEL：0869-88-1888 / FAX：0869-88-0204

《東京営業所》
〒116-0014
東京都荒川区東日暮里5-52-2神谷ビル301
TEL：03-5810-6825 / FAX：03-5810-6826

URL：http://www.mate.co.jp/

Copyright (c) 2009 MATE CO., LTD All right reseved.

編集後記

BM 素心は、井上理事にご寄稿頂いた。井上氏はボンド磁石材料開発から成形方法に至るまで幅広い経験を有する方であるが、今回はコロナ感染防止のためやむなく自宅待機する中で考えられた提言となりました。会員皆様の健康管理の参考にして下さい。

COVID-19 感染防止のため恒例の技術例会、寺子屋塾を中止していましたが、各種委員会を Web 上で試みた結果、かなり使える時代になっていることが分かり、遅まきながら寺子屋塾、軟磁性材料研究会、シンポジウム、新春公開セミナーを Web 上で開催しました。慣れない手法であるため心配しましたが、幸い、多くの皆様のご協力で杞憂に終わりました。

寺子屋塾は山本日登志氏に 3 回に分けてご講義頂きました。1 回 3 時間の講義時間は Web では長すぎるのではという意見もあり 2 時間としました。これまで、アクセスの関係で参加が難しかった方々や大学生などの参加も可能となり受講生は 70 名程度となりました。それぞれの会の内容は徳永寺子屋塾長に詳しく紹介して頂いておりますので参考にして下さい。

軟磁性材料研究会と圧粉磁心の規格化・標準化部会も少し時間を変更して行いました。討議の内容は山内主査に詳しく紹介して頂いておりますので参考にして下さい。

シンポジウムも講演テーマ 6 件で実施しました。講師の皆さんはそれぞれの職場からということで、通信トラブルなどの心配がありましたが、予め通信テストにご協力頂き無事に終了しました。当日の講演内容を講師の皆様にご承諾頂き再掲載しました。

新春公開セミナーは小西評議員に、「今　レアアースは」と題して SDGs や中国の「輸出管理法」との関連を背景に世界のレアアース、日本のレアアースについてご講演頂きました。小西氏はこの分野の生き字引的な方であり参考にして下さい。

また、阿部城士名誉会員にご寄稿頂きました。ボンド磁石の開発の歴史が書き留められており協会にとっての宝物です。

早急にワクチン接種が進み、集まって議論ができる形になって欲しいと願うばかりです。

機関紙編集委員長
大森 賢次